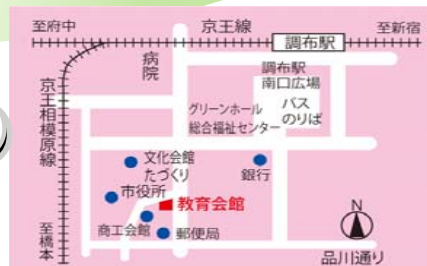


～第10回市民サロン開催のお知らせ～

都市計画マスタープランの見直しについて、参加いただいた市民の方々と話し合いを進めます。

日程 平成25年8月27日(火) 午後7時から
 場所 調布市教育会館2階201・202会議室
 主な内容 地域活性化と住民発意のまちづくりをテーマとした話し合い
 (後半 課題の解決策編)

参加自由です!
 お気軽にご参加ください。



会場案内図
 ※お車でのご来場はご遠慮ください。

※第11回以降も、定期的に市民サロンを開催します。

第11回テーマ：市への提言のとりまとめ・検証【前半】9月下旬頃

第12回テーマ：市への提言のとりまとめ・検証【後半】10月中旬頃

❖ 次回の市民サロンの進め方 ❖

第10回市民サロンでは、第9回で話合った「地域活性化と住民発意のまちづくり」に関する課題や問題点について、解決するためにはどのような取組が必要か、何を強化するべきなのかといったことについて、グループごとに話し合います。

▶ 第10回市民サロンの話し合いの手順(イメージ)

ステップ1
 第9回市民サロンの意見をもとに
 課題や問題点を共有化



ステップ2
 課題を踏まえた方針・取組の検討を
 行います。



①一人ひとりの意見をポスト
 イットに記入していきます!

②類似する意見をまとめて、グループ
 の意見として集約していきます。

ステップ3
 グループごとに検討内容を発表し、
 全体で共有します。



■ 調布市では、マスタープランの見直し作業の過程等について、このニュースでわかりやすくお知らせしていきます。
 発行 調布市都市整備部 都市計画課 都市計画係
 Tel : 042-481-7453 Fax : 042-481-6800 mail : tikubetu@w2.city.chofu.tokyo.jp

登録番号
 (刊行物番号)

2013 - 118

調布市

都市計画マスタープラン 見直しニュース 第10号

調布市では、長期的・総合的な視点から今後の都市計画の指針となるものとして平成10年に策定した「調布市都市計画マスタープラン」の見直し・改定に向けた取り組みを進めております。



平成25年8月22日
 調布市都市計画課発行

第9回都市計画マスタープランを考える市民サロンを開催しました!

都市計画マスタープランの改定に向けて、第9回市民サロンを7月30日(火)午後7時から開催しました。当日は19人の市民の方にご参加いただき、多くのご意見をいただきました。

▶ 第9回市民サロンの概要について

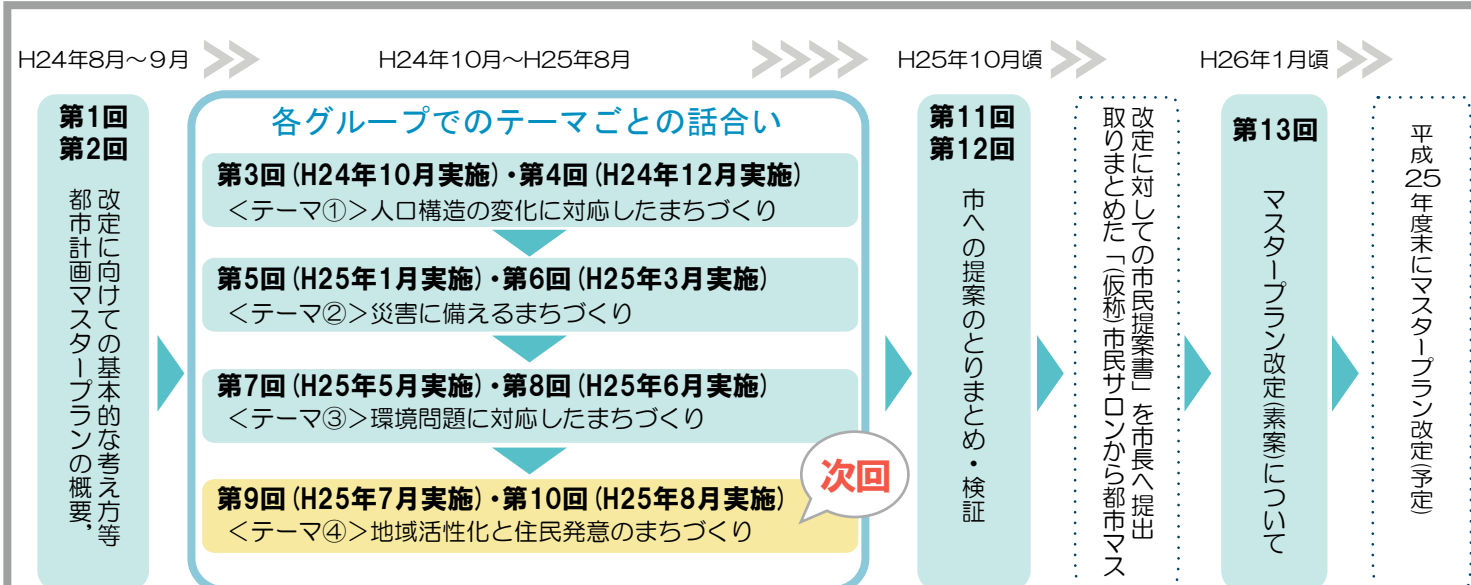
京王線の地下化を機に、分断していた南北の市街地が一体化し、今後、調布駅周辺の都市構造が大きく変化することが予想されます。また、平成17年には調布市ほっとするふるさとをはぐくむ街づくり条例を施行しており、地域の特性を生かした住み良い街づくりを推進するため、住民発意のまちづくりが進んでいます。

こうした中で、第9回市民サロンでは、「地域活性化と住民発意のまちづくり」をテーマに、地域の活性化に向けての課題や地域住民主体でまちづくりを進めていくうえで必要なことなどについて話し合いを行いました。 ※当日の話し合いの内容は、中面をご覧ください。



市民サロン開催スケジュール

市民サロンでは、近年の社会情勢等の変化をもとに、大きく4つのテーマについて意見交換を行っています。1つのテーマにつき、2回の市民サロンで話し合いを行い、市への提案として取りまとめることを予定しています。



※このスケジュールは現在の予定を示したものですので変更になることがあります。

第9回市民サロンの様子

～市民サロンでいただいたご意見を紹介します～

Aグループ



関連分野	関連する施策	主なご意見
交通	交通利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ■ 駐輪場は、駅からの距離によって、利用者数もかなり違うため、有料駐輪場の料金に差をつけるのも良いと思う。
住環境	地域資源を活用したにぎわいあるまちづくり推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「映画のまち調布」という目標を示しているが、市内に映画館がない。 ■ 映画・映像関連企業、市民、行政が集まり、映画による地域活性化を話合う場がほしい。 ■ 映画のまちとしてのイメージが強いならば、映画を上映したり、施設の見学を行うなど、市と企業が一体となって、継続性のある取組を進める必要があるのではないか。
	身近に利用できる公共施設の整備・活用	<ul style="list-style-type: none"> ■ 産業の活性化として、工業の活性化を図ることが調布市にふさわしいのか、方向性を見直す必要があるのではないか。 ■ 市内は学校が増え、若者が増えたので、若者が何かできる場を作る必要があるのではないか。 ■ 鉄道敷きの跡地活用策として、おしゃべりができ、ホッとするような空間をつくってほしい。

Cグループ



関連分野	関連する施策	主なご意見
住環境	良質な住宅・住環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> ■ まちづくりを考える際には、駅周辺だけでなく、周りの住宅地についても考えるべきである。 ■ 古い住宅をリニューアルし、若い人たちが住めるまちづくりをすべきである。
	地域資源を活用したにぎわいあるまちづくり推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「映画のまち調布」らしさが全くないため、多くの映画祭を行ったり、市内に立地する事業者と協力しながら映画館をつくってほしい。
	—	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農工商業や観光等、多くを推進しようとするのではなく、「若者が定住しやすいまちづくり」等のメインコンセプトを絞ることが重要である。
合意形成によるまちづくり	市民が議論できる場の充実	<ul style="list-style-type: none"> ■ 住民発意のまちづくりは「誰が初めに声を上げるのか」が課題であり、リードしていく人材がいなければ成り立たない。 ■ 住民発意のまちづくりはスタートしたばかりなので、より良いあり方を探りながら調布市としての仕組みをつくっていく必要がある。 ■ 市と事業者の間での合意が形成される前に市民が参画できるようなルールづくりが必要である。

Bグループ



関連分野	関連する施策	主なご意見
交通	だれもが安全に移動できる道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自転車と歩行者を中心にしたまちをつくるために、自転車レーン・歩道の再整備が重要である。 ■ 歩道が狭くて車イスが通れない所や危ない歩道があるため、改善していく必要がある。
	駐車場や駐輪場の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 駐輪場の需要が多い駅周辺を具体的にいつ頃整備するのか、いかに使いやすい駐輪スペースをつくるか、不足の多い所を優先的に検討した方がよい。
住環境	良質な住宅・住環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民が生活しやすいまちをつくることも活性化の目的であると思う。 ■ 安全安心、福祉のまちづくり、景観、緑の保全も地域活性化のひとつのテーマになると思う。
	中心市街地の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 京王線の地下化を契機にしたまちづくりを推進していくことが重要である。
合意形成によるまちづくり	市民と行政の協働作業の場の設置検討	<ul style="list-style-type: none"> ■ 行政と市民が一体となって行動する具体的な実例を数多く作り上げることが大切である。 ■ 行政側も市民の方へ近寄らず、市民側も口は出すが、行動に移さないことが多いように感じる。

Dグループ



関連分野	関連する施策	主なご意見
交通	だれもが安全に移動できる道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■ ミニバスにも限界がある。歩行者と自転車の分離がやはり重要で自転車レーンをできるだけつくった方がよい。 ■ 道路の危険箇所をカラー舗装している場合があるが、そのみでは危険であり、改善していく必要がある。
	だれもが安全に移動できる道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 車いすで行けるバリアフリーの施設がほとんどない。病院や商店街など、車いすの人や高齢者があたりまえに暮らせるまちづくりを進めることが必要である。
住環境	地域資源を活用したにぎわいあるまちづくり推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 深大寺周辺は、落ち着いてくつろげる喫茶店などがほとんどないため、周遊しづらい。もっと回遊性がよくなるようにする必要がある。
	中心市街地の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 吉祥寺では商業ビルが商店街の奥にあるので、駅からの回遊性が良いが、調布市では京王の商業ビルが駅前にできるので回遊性が課題である。
合意形成によるまちづくり	市民と行政の協働作業の場の設置検討	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鉄道跡地を整備するだけでなく、維持管理やイベントなどを住民と協働するべきである。事前に担い手育成などをしておかないといけない。
	市民活動を支援する庁内組織検討	<ul style="list-style-type: none"> ■ ボランティアをやった人が達成感を得られるような仕組みが必要である。

